



平佐 伸二氏へ 感謝状贈呈

当会会員の平佐伸二さんから、私どもの手稲郷土史研究会並びに手稲区連協に対して、それぞれ50万円という高額なご寄付を賜りました。

2月13日の定例会に先立ち、当研究会会長並びに手稲区連協会長より感謝状が送呈され、会長謝辞の後、ご臨席の岸 光右市民部長さんからもご挨拶をいただきました。なお、当会への寄付金につきましては、今後、手稲区資料館設置運動資金として有効に活用させていただく所存です。ありがとうございました。

手稲スキー物語 講師 田邊 安徳氏 (手稲スキー協会事務局長、

元手稲千代ヶ丘1区町内会長)

手稲山 スキーの歴史



記録に残っている初めてのスキー登山は、明治45年にさかのぼるとの事です。その後大正2年からは、北大スキー部の活動が始まりました。現在のように交通機関が発達しているわけでもなく、リフトなど無い時代のスキーです。手稲駅から後はひたすら自力で歩き、登ります。

一枚板のスキーに滑り止めのシール(アザラシの毛皮)をつけたり、縄を巻きつけたりして上ったそうです。そこまでの努力をしてスキーに取り組んでこられた方々に頭の下がる思いです。

パラダイスヒュッテ建設

大正15年 初代パラダイスヒュッテが完成しました。この建物ができたことでスキー人口が増えました。また、建物の近くの斜面ではジャンプ台も作られて、北大スキー部が戦前そこで練習したとの事です。初代パラダイスヒュッテは平成5年に崩壊。2代目パラダイスヒュッテが平成7年に再建されました。

軽川名物スキー饅頭

講師の田邊さんのお祖父さんは手稲駅前で食堂を経営されており、手打ち蕎麦などを出しておられました。それとともに、特製の餡がいっぱい詰まった薄皮饅頭を「スキー饅頭」として販売され、手稲駅で乗降するスキー客たちに大好評。売り切れもしばしばだったとか。戦争のため材料が手に入らなくなり、以来作られていないとの事です。食べてみたかったですね。

スキー仲間の思い出と札幌手稲スキー協会設立

田邊さんと同世代のスキー選手たちには、高梁弘さん、秋葉信雄、六郎さん兄弟などがいらっしや、国体選手となったり、宮様ジャンプ大会で優勝したりと活躍されたとの事です。

これらの先輩たちの活躍を次の世代に引き継ぐべく、札幌手稲スキー協会が平成4年に設立されました。手稲出身の選手が大倉山ジャンプ競技上に大きなアーチを描いてくれる日が楽しみです。

雪崩れ体験

昭和50年ニセコイワオアンヌプリで雪崩れに会われて九死に一生を得たお話は、最近同様のニュースに接したばかりですから、臨場感に溢れていました。巻き込まれた時の田邊さんの冷静な対応には感心しました。



郷土史夜話



語り部 一ノ宮 博昭 会員

田邊さんのお話を受けて、一ノ宮会員が名調子でご自身のスキーの思い出や、手稲駅界隈の今昔、さらには国際交流にまで及ぶ楽しいお話をしてくださいました。

田邊さんが資料として配布して下さった昭和 20 年前後の軽川市街復元図を見ながら、映画館もあった、手掘りのプールもあった、あの建物はどこにあったのだろうと、話が弾みました。

一方、日本石油が爆撃されて船木旅館の窓ガラスが割れたことなど、手稲も戦争と無縁ではなかったことを考えさせられるお話も有りました。

最後は「利雪・克雪・親雪」という言葉で、雪と上手に付き合っていこうとまとめてくださいました。

会員投稿

思い出

高木 秀子

新聞社を退職した父は、「青森県議会史」の編纂に明け暮れていました。時折、新聞やテレビにも顔を出すこともありました。

私が高校生だったある朝食時、父がテレビに映っていました。誰も注目せず、ただ箸を動かし続けている変わった家族でした。

民家の広い板の間の炉辺では、吊るされた大鍋から湯気が立っており、その辺りで白いあごひげをたくわえ、ちゃんちゃんこを羽織った父、そして数人の着物姿の童たち。父は郷土の民話を語っていました。父は見たこともないような優しい眼差しで子等を見つめ、その声はとてもおだやかなものでした。

当時、気難しい父と反抗期の私はことごとく衝突し、口をきかない日も多くありました。私は無性に腹が立ち、学校までの道のりを猛スピードで自転車をこぎ、その日は一日中最悪な気分でした。他人の子どもに見せたあの笑顔が気にかかって仕方がなかったのです。

大人になって気づきました。あれは嫉妬だったのだと。何だ、嫉妬するほど好きだったのか！懐かしさがこみ上げてくる今日この頃です。

父のDNAを少しばかり受け継いだようで、郷土史の講義を聴いている時が私にとって至福の時です。

* 投稿のお願い *

皆さんからの投稿をお待ちしています。手稲の話、例会の感想や、日々感じていること、川柳など自由にご投稿ください。歴史を離れた話題も歓迎です。原稿は、例会の際 広報担当 高木・佐藤へ お渡しください。

*** 次回例会 *** 後援 ・手稲区・手稲区民センター運営委員会・手稲区町内会連合会連絡協議会
・手稲郷土資料館設置期成会

第24回 4月 9日 (水)

* 会員募集 *

お知り合いなどで入会を希望される方がいらっしゃいましたら、事務局まで ご連絡ください。

